



東京清掃労働組合
 千代田区飯田橋3-9-3
 TEL (3237) 9995
 1部20円

編集責任 長明浩
 教宣部 坂本

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第80回定期大会
 月日…10月16日(日)
 会場…ベルサール飯田橋

定期大会に向けて

「運動方針(案)」、「予算(案)」を提起

9月16日、第9回中央委員会が開催され、10月16日に予定されている第80回定期大会議案の『運動方針(案)』と『各会計予算(案)』が提起されました。今後の各職場での討議と中央委員会での確認を経た後に、定期大会で提案、討議されることとなります。



第9回中央委員会 (SKホール・2011年9月16日)

『運動方針(案)』では、「**「各会計予算(案)」**」
 体的な闘い」として、「労働条件改善の闘いと反合理化闘争」、「廃棄物行政の確立と直営強化の取り組み」、「公務員制度改革に対する取り組み」などが提起されました。公務員制度改革の方向性は、今後のわが組合の交渉形態や組織のあり方にも大きく影響します。引き続き基幹的労働条件については、統一交渉で決定していくことが必要です。今後の具体的な取組みが重要となります。『各会計予算(案)』は、組合員の減少により全体的に緊縮予算(案)となつていますが、運動上の財政的な裏づけとして、必要な項目に予算措置をしています。



「方針(案)」を提起する顧問委員長

第9回中央委員会

また、この日の中央委員会で『**「拡がる車付雇上などの問題点について**』
 立と直営強化の取り組み」、「公務員制度改革に対する取り組み」などが提起されました。公務員制度改革の方向性は、今後のわが組合の交渉形態や組織のあり方にも大きく影響します。引き続き基幹的労働条件については、統一交渉で決定していくことが必要です。今後の具体的な取組みが重要となります。『各会計予算(案)』は、組合員の減少により全体的に緊縮予算(案)となつていますが、運動上の財政的な裏づけとして、必要な項目に予算措置をしています。

清掃研修「現任技能(10年目)」事件が起きて以降、三回にわたる事実確認会が開催され、講師は職業差別、部落差別を助長する発言を行ったことを四者(東京清掃部、部落解放同盟東京都連、特別区職員研修所、講師所属区)で確認しました。これを受けて、再発防止策の確立のための協議が行われてきましたが、8月30日の協議で、具体的な方策等を確認するに至り、今回で研修の改善・充実に向けた協議については終了しました。

8月30日の協議では、これまでの協議を踏まえ、研修所としての問題点の整理や研修の改善・充実に向けた具体的な方策を確認したものです。研修所は、本件に対する考え方として「人権を守るべき立場にある区の管理職が、職業差別、部落差別を助長するような発言を行うたものであり、当研修所としては極めて遺憾」とし、

8月30日の協議では、これまでの協議を踏まえ、研修所としての問題点の整理や研修の改善・充実に向けた具体的な方策を確認したものです。研修所は、本件に対する考え方として「人権を守るべき立場にある区の管理職が、職業差別、部落差別を助長するような発言を行うたものであり、当研修所としては極めて遺憾」とし、

わが組合と都連は、研修所としての事件に対する考え方や、清掃研修の改善・充実に向けた具体的な方策について了承すること、研修の改善・充実に向けた協議は二回をもって終了としました。

清掃研修の改善・充実に向けた協議 再発防止に向けた取り組みを確認

清掃研修の改善・充実に向けた取り組みを確認

清掃研修の改善・充実に向けた取り組みを確認

清掃研修の改善・充実に向けた取り組みを確認

研修の改善・充実に向けた協議は終了しましたが、引き続き講師所属区との話し合いが残されています。現実に職場の切り盛りをしているのは、現場の第一線で奮闘する職員です。安直・性急な「安上がり行政」を追求した結果として、特別区の清掃事業は非正規労働者の活用が拡大するなど、職場には重い閉塞感が満ちています。奮起を促すべき管理職が、移管の経緯や清掃事業の歴史、清掃職場における同和研修の必要性を十分に踏まえ、研修という公の場で、私見を述べながら差別を助長する発言をしたり、清掃職場や職員の労働条件を軽々に否定する発言は決して許せません。



研修の改善・充実に向けた協議 (特別区職員研修所・2011年8月30日)

清掃研修の改善・充実に向けた取り組み／特別区職員研修所

基本的考え方

清掃事業移管並びに職員の身分切替時に東京都から引き継いだ研修水準、同和問題研修講師の養成等に関する基本的な枠組みは尊重しつつ、本件の反省を踏まえ、当事者の視点や、差別の実態から学ぶフォローアップを意識した同和研修の改善・充実策を講じる。

具体的方策

- 講師養成研修の改善・充実**
清掃事業移管の経緯、同和研修の重要性、研修実施の意義・背景等の説明を徹底するとともに、模擬講義等の演習を通して講師としての理解度や資質の向上に資する内容となるよう、カリキュラムの見直しを行う。また、講師登壇にあたってのフォローアップとして「差別の実態」を学べるようカリキュラム、担当講師を工夫する。
- 同和研修の改善・充実**
現場のリーダーが、当事者の視点を踏まえた差別の実態から学び、職場において実践的な指導を行うことができるよう、同和研修（新任技能長、新任統括技能長）に外部講師を試行的に導入する。内部講師が行う研修については、標準となる「モデル教材」「指導要領」等を作成し、講師に示すとともに、以下のとおり研修内容等の確認を徹底する。
ア レジュメ、副教材等の内容はあらかじめ研修所が確認する。
イ 担当職員が研修に立会い、実施内容を確認する。
ウ アンケートの点検を問題点の掘り起こしの観点から徹底し、問題を発見した場合には直ちに検証を行い対応する。
エ 講義の録音を行う。
- 各区との連携**
再発防止に向け、職員育成の主体であり、任命権者である各区との連携・協力を緊密にし、人権問題の解決に取り組むことを確認していく。
- 関係団体との意見交換**
人権問題、同和問題等について、関係団体との定期的な意見交換の実施等により、研修の質の維持・向上に努める。

【1面より】
研修の改善・充実の協議では、同和研修の講師については、外部講師の活用も求められてきたが、現場の管理職が移管の経緯や清掃事業の歴史、現場の実態を正確に踏まえたうえで研修を実施することにも大きな意義があります。
すべての差別撤廃に向けた取り組みは、働き甲斐という人間の尊厳をかけた取り組みでもあります。

残暑の中、東京ドームボウルで熱戦が展開される

熱戦が展開される 本部主催第14回ボウリング大会



チーム優勝に輝いた文京支部チーム

9月10日(土)、東京ドームボウルで本部主催による第14回ボウリング大会が開催されました。
この日は真夏に逆戻りしたかのような猛暑日でしたが、仕事が終わってから参加した腕に覚えのある72名の面々は、一投一投に歓声を上げながら2ゲーム合計による熱戦を繰り広げました。
栄えあるチーム戦優勝に輝いたのは、第二地連・文京支部、準優勝は、第一地連・中央工場支部、第三位は、第三地連・多摩川事業所支部となりました。
次回開催を求める多くの声をいただきました。教宣部としては、ボウリング大会に限定せず、様々なレクリエーションを企画していきたいと考えています。ご期待ください！



表彰式を兼ねた懇親会で盛り上がる〈清掃会館/SKホール〉



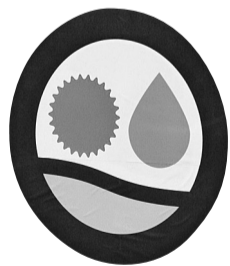
本部主催第14回ボウリング大会〈東京ドームボウル・2011年9月10日〉

個人戦上位5名

順位	氏名	支部	総得点
優勝	石野 隆行	墨田(工)	368
準優勝	野一色 達也	文京	363
第三位	福永 智幸	多摩川(事)	357
第四位	廣瀬 玲司	中央(工)	351
第五位	実方 幸雄	北	341

チーム戦上位5チーム

順位	支部	地連	総得点
優勝	文京支部	第2地連	1,246
準優勝	中央工場支部	第1地連	1,206
第三位	多摩川事業所支部	第3地連	1,201
第四位	品川支部	第3地連	1,115
第五位	北支部	第2地連	1,109



「さようなら原発5万人集会」

脱原発を訴えて全国から多くの仲間が結集！



作家の大江健三郎氏が呼びかけた脱原発を求める「さようなら原発5万人集会」が19日、約6万人(主催者発表)が参加する中で東京・明治公園で開催されました。福島原発事故後の集会では最大規模の集会となり、社会的にも「脱原発」の世論が大きくなっていることが感じられる大集会となりました。
わが組合からも週休者を中心に多くの組合員が参加しました。警察のデモ規制により、集会終了後からデモの最終部隊が明治公園を出発するまでに3時間もかかるといふ異例の事態となり、東京清掃の隊列が明治公園を出たのは午後5時過ぎでしたが、最後まで力強く行動を貫徹しました。
わが組合の定期大会も間近となっていますが、『運動方針(案)』では、『地震の多い日本での原子力発電の即時閉鎖を求め、脱原発の運動を展開していかねければならない』と提起しています。引き続き全国の仲間と取り組みを進めていきましょう。